

2025 年 11 月 13 日
ダイキョーニシカワ株式会社

高電圧バスバーをトヨタの新型「bZ4X」向けに供給開始

ダイキョーニシカワ株式会社（広島県東広島市寺家産業団地 5-1、代表取締役社長:杉山郁男、以下、当社）は、トヨタ自動車株式会社が先月発売した、電気自動車の新型「bZ4X」向けに、バスバー※の供給を開始しました。当社が生産するバスバーがトヨタ自動車株式会社に採用されるのは初めてとなります。

※電流を安全・効率的に伝送するための配線部材(電動車用電気部品)。



今回開発したバスバーは高電圧/大電流に対応しており、電気自動車の高出力化に貢献するほか、搭載する自動車に応じ、複雑な形状にも対応できる柔軟性と省スペース性も実現しました。また本製品は「インサート成形」※を採用しており、バスバーに絶縁体を被覆する工程を一回の成形で完了することができます。また、金型への金属部品の配置と取り出しおよび通電・耐電圧検査を全自動化したことで、従来と比べて工数減が可能になりました。

※あらかじめ金型内に金属などを配置し、そこに樹脂を流し込むことで金属と樹脂を一体成形する工法。



画像提供: トヨタ自動車株式会社

新型「bZ4X」(4WD・メーカーオプション装着車)

当社は引き続き、自動車の電動化への対応を進めるとともに、金属から樹脂への置き換えによる軽量化を通じ、環境にやさしいモビリティ社会の実現に貢献してまいります。

【本件に関するお問合せ先】

ダイキョーニシカワ株式会社 経営管理本部

総務部 総務グループ

電話番号：082-493-5600

ーダイキョーニシカワ株式会社 会社概要ー

広島県東広島市に本社を構える提案型の総合プラスチックメーカー。起源は 1953 年にさかのぼり、合併により 2007 年に西川化成（株）とジー・ピー・ダイキョー（株）の 2 社の DNA を継承した「ダイキョーニシカワ（株）」が設立。自動車部品および住宅部品の製造、販売を主な事業としており、軽くて加工自由度が高いプラスチックの特性を活かして機能性をさらに高めながらも、安全性・環境への配慮を欠かすことなく、より付加価値の高い製品をお届けすることで、社会に貢献しています。

以上